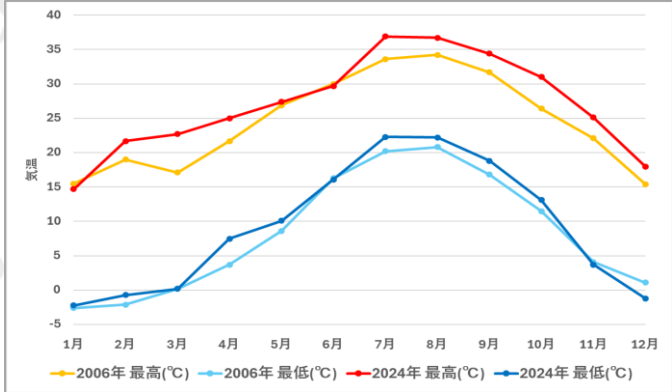


※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。



気温上昇前に早めの高温対策をしましょう！



2006年と2024年の最高・最低気温の比較(愛知県豊橋市)

この約20年間の気温の変化です。
毎年猛暑が続いていますが、年間通しても徐々に
気温が上昇していることがわかります。
特に7月の気温上昇が見られるため、**早めの高温
対策を行い、暑い夏を乗り切りましょう！**



ヒートインパクト

酷暑に
打ち克つ！

暑さに負けない“強さ”を引き出す

- ◆ 花粉の不稔化による結実不良を防ぐ
- ◆ 果菜類の糖度・肥大不足に！
- ◆ 光合成機能の低下による収量減対策

果菜類・葉菜類使用例 1,000倍 100ml/10a
本葉展開後～収穫前 2~3回 葉面散布



野菜類使用例 50aあたり6.25g(1袋)
葉面散布/1~2回/生育初期

エヌキャッチ
窒素固定細菌Gd(グルコンアセトバクター・ジアソトロフィカス)
葉から植物体内に入り、空中の窒素を供給！
窒素不足時に効果を発揮するため、窒素過多の心配もなし！

酷暑対策に

収穫物の
品質向上に

作物の
生産性向上に



育苗期おすすめ防除



防除チラシ掲載農薬は年間の通し回数をカウントしていません！
ご自身の散布履歴に合わせて薬剤を検討してください！



IRAC FRAC	対象病害虫	薬剤名	予防	治療	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数			
								ミツバチ	マルハナ	ミヤコ	チリ
M03	じゃのめ病・炭疽病	ジマンダイセン水和剤	○	—	600倍	仮植栽培期 ※ただし 収穫76日前まで	6回	3日	0日	14日	14日
13	ハダニ類・ハスモンヨトウ・シラメンホリガミ・ミカンイロアザミ	コテツフロアブル	—	—	2000倍	前日	2回	10日	9日	14日	14日
11,7	うどんこ病・炭疽病	シグナムWDG	○	○	2000倍 (灰色かび病: 1500~2000倍)	前日	2回	1日	1日	1日	—
25A	ハダニ類	ダニサラバフロアブル	—	—	1000倍	前日	2回	1日	1日	0日	—
M07	うどんこ病・黒斑病・炭疽病・灰色かび病	ベルコートフロアブル	○	—	2000倍 (うどんこ病: 2000~4000倍)	前日	5回	0日	—	0日	—
21A	ワタアブラムシ・コナジラミ類・ハダニ類・チャホリガミ・シラメンホリガミ	サンマイトフロアブル	—	—	1000~1500倍	収穫開始 3日前	1回	4日	1~4日	30日	30日
3	うどんこ病・炭疽病	サンリット水和剤	○	○	2000~4000倍 (炭疽病:2000倍)	前日	3回	1日	—	0日	—
6	ハダニ類	コロマイト乳剤	—	—	1000~1500倍	仮植前	2回	1日	1日	7日	—

作物によって対象病害虫や希釈倍率が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。